

■戦略の目的

- 新型コロナウイルスにより大阪経済や府民のくらしは、大きな影響を受けており、ワクチンや有効な治療薬が開発されるまでの間、その影響は今後も続く想定。
- 新型コロナウイルスとの共存を前提に、「新しい生活様式」を社会に取り入れ、府民のいのちやくらしを守り、あわせて経済活動を支えていくことが必要。
- また、コロナ後の社会変容を見据え、「新しい生活様式」に加え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速など、大阪の再生・成長に向けた取組を戦略的に展開していくため、大阪府・市で新たな戦略を策定。この戦略に基づき取組を進めていくことで、2025年の大阪・関西万博につなげていく。

■戦略策定の考え方

◎戦略策定にあたっての現状分析

⇒新たな戦略の策定にあたっては、新型コロナウイルスによる大阪経済・雇用への影響から課題等を分析するとともに、コロナによる社会変容（ニューノーマル）を踏まえ、コロナとの共存、さらに、アフターコロナを見据えた大阪の再生・成長に向けた取組の方向性等を検討。

◎新たな戦略の検討の視点（案）

- 新型コロナウイルス感染症から「府民のいのち」と「経済・雇用」を守る生命線となる医療体制の充実・確保を図る。
- コロナとの共存を前提に、事業の継続・雇用の維持を図り、最大限経済活動を再開させることで、その減速を止め、大阪経済の立て直しを図る。
- 経済の立て直しにあわせ、アフターコロナ、その先にある2025年の大阪・関西万博を見据え、成長産業の育成、イノベーションの促進を図る。
- コロナがもたらしたニューノーマルに備え、府民生活をはじめ、社会経済活動全般に新しい生活様式を取り入れるとともに、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速を図る。

◎取組の方向性（案）

⇒感染拡大を抑制しながら社会経済活動を維持・再開する「**感染防止・経済活動両立期**」と、ワクチン実用化等を契機として、次の成長軌道に乗せていく「**反転攻勢期**」にフェーズを分け、取組の方向性を検討。※以下は各フェーズの取組の方向性（案）の例

	感染防止・経済活動両立期（Withコロナ）	反転攻勢期（Afterコロナ）
経済・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ➢事業の継続、雇用の維持 ➢国内需要喚起とインバウンド復活に向けた受入環境整備 ➢Withコロナに対応した産業育成（バイオ、情報通信等） ➢アフターコロナを見据えたイノベーションを促進 など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢新たな雇用の創出、雇用の流動化など労働市場の効率化 ➢内外の需要喚起（インバウンドの量から質への転換、地域の拡大） ➢社会変容を踏まえた成長産業（ニューノーマルへの対応）の育成 ➢海外から人材、企業等の呼び込み など
府民生活	<ul style="list-style-type: none"> ➢セーフティーネット機能を強化し、府民の生活を守る など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢バーチャルとリアルの両面からの地域コミュニティの活性化 ➢「10歳若返り」をめざした取組 ➢教育環境の充実（ICT化）など
社会全般	<ul style="list-style-type: none"> ➢東京一極集中から地方分散の流れの加速 ➢リモート化を契機とした地域活性化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢アフターコロナに対応した都市のあり方（職住融合、データ活用等） ➢府域全体の活性化 など

➢2025年大阪・関西万博の成功へ（SDGs先進都市に向けて）

➢次なる大阪の成長へ

「新しい生活様式」の取り入れ、スマートシティなどDX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速

※医療に関する取組については別途、新型コロナウイルス対策本部や新型コロナウイルス感染症対策協議会において議論。

■今後の進め方

